

## 第 83 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 5 年 5 月 16 日 (火) 13 時 00 分～14 時 35 分
2. 場 所 WEB・対面方式 ホスト：アルカディア市ヶ谷
3. 出 席 者
- |       |       |        |  |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長   | 井上 圭三 |        |  |
| 副 会 長 | 楠 文代  | 中村 明弘  |  |
| 常務理事  | 田中 芳夫 | 越前 宏俊  |  |
|       | 浜岡 純治 | 加留部 善晴 |  |
| 理 事   | 杉林 堅次 | 亀井 美和子 |  |
|       | 引田 弘道 | 神野 透人  |  |
|       | 赤路 健一 | 北川 裕之  |  |
|       | 篠塚 和正 |        |  |
| 監 事   | 富田 基郎 | 市川 厚   |  |
| 参 与   | 乾 賢一  | 本間 浩   |  |

理事現在数	15 名
出席理事数	14 名
会場出席	6 名
WEB 出席	8 名

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、理事現在数 15 名に対し、本日の出席理事は 14 名となり、定款で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、篠塚理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録（第 82 回理事会：令和 5 年 3 月 7 日日開催）について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 理事の退任に伴う後任理事の取扱いについて

「資料 3」のとおり元木和幸理事（5 月 10 日付、昭和薬科大学理事

長を退任)及び奥直人理事(会長指名理事:3月31日付帝京大学薬学部長を退任)の2名の理事が退任したことに伴い、後任理事の取扱いについて協議した。

井上会長から、検討にあたり令和4年度に実施した理事の選挙結果を参考にしたところ、次の理事候補者となる対象者の得票数が極めて少なかったこと、また、会長指名理事についても、現時点で指名する特段の理由がないものと判断し、後任理事2名の補充人事は行わない旨説明があった。またこれに伴い、理事の現在数は17名から15名となるが、定款第19条に定める理事定数12名以上17名の範囲内に収まっていることから、問題がないことも併せて説明があった。

以上の理由により、後任理事の補充人事は行わないものとして提案され、協議の結果、これを全会一致で承認し、6月6日(火)に開催する第1回通常総会に諮ることとした。

### (3) 令和4年度事業報告(案)について

小池事務局長から、「資料4」に基づき令和4年度事業報告書(案)について説明があり、協議の結果これを全会一致で承認し、6月6日(火)に開催する第1回通常総会に諮ることとした。

### (4) 令和4年度決算(案)及び監査報告について

小池事務局長から、「資料5」に基づき令和4年度収支計算書(案)等関係書類の説明及び富田監事から監事監査結果の報告があり、協議の結果これを全会一致で承認し、6月6日(火)に開催する第1回通常総会に諮ることとした。

### (5) 第1回教育研究問題検討委員会について

井上会長(本検討委員会委員長)から、4月10日(月)に開催された本検討委員会について「資料6」に基づき以下の報告があった。

- ① 委員会の構成は、理事の先生から推薦を受け、若手の教官を中心に構成した。
- ② 今回は特にテーマを設定せず、自由に発言する形で行った。次回開催においては、薬剤師国家試験の在り方等について、試験内容等を含め検討することとした。

また、今回のコアカリ改訂に関し、臨床を意識した薬学教育が重視されたことは理解されているが、教員がコアカリ改訂の精神を、十分理解しているかどうか懸念をいただく等の意見があった。

#### (6) 学生の入学定員及び入学者数について

小池事務局長から、「資料7」に基づき令和5年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数調の結果報告があった。

また、井上会長から、本年度より「入学定員遵守の申合せ」を廃止したことの確認及び入学定員を充足しない大学が増加していることへの懸念が示された。

#### (7) 令和4年度実務実習実態調査の結果について

小池事務局長から、「資料8」に基づき私立57大学を対象に実施した令和4年度実務実習実態調査結果（病院、薬局における学生の受入割合、実習経費の金額別、学生数等）の報告があった。

#### (8) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、「資料9」に基づき以下の報告があった。

##### ① 「薬学教育モデル・コア・カリキュラムに関するシンポジウム」について

令和5年4月12日（水）13:00～16:50に実施し、関係者350名の参加者があった。シンポジウムの録画は、近日中に配信する予定である。

##### ② 認定実務実習指導薬剤師の認定申請・審査状況について

令和5年4月21日現在の審査終了が3,737件あり、認定3,608件、認定不可129件であった。

##### ③ 第47回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録について

- ・令和4年度第IV期実務実習報告の中で、WEBシステムについて、午前1時以降も入力できるようにしてほしいこと、また、メールに複数文書が添付できるようシステムに関して要望があり、WEBシステム検討委員会で検討することとした。
  - ・本年度から、薬学教育協議会内の実務実習に関連する委員会の体制を見直し、「病院・薬局実務実習推進委員会」を設置し、実務実習ガイドラインの改訂、見直しを行うこととした。
  - ・現行のガイドラインに基づく実務実習の課題への対応についてハラスメント等の対応については、報告だけでなく、その対応についても合わせて報告するよう各地区へ依頼した。
- また、実習の枠組み、実施時期について、地区調整機構が各地区の状況に合わせて協議を行い、ガイドラインに記載された原則を

順守したうえで、より効果的な実習方法、枠組みに提案があれば検討し、地区内で合意を得られた場合は、中央調整機構委員会での協議を経て対応する。

④ 2023（令和5）年度第11期役員について

⑤ 2023（令和5）年度主要会議開催予定表について

なお、「実務実習ガイドラインの改訂」については、WGを立ち上げ、9月若しくは10月に改訂版を公表することを目途に作業を進めているが、枠組みは、現行の「病院11週・薬局11週」の基本を踏襲することで検討している等の報告があった。

#### （9）薬学共用試験について

中村副会長（薬学共用試験センター試験統括委員会委員長）から、「資料10」に基づき、「2022年度薬学共用試験実施状況」について報告があった。

### 5. その他

#### （1）第23回 JAPAN ドラッグストアショー（一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会）の後援名義申請について

井上会長から、「参考資料」に基づき令和5年8月18日（金）～20日（日）まで東京ビックサイトで開催される「第23回 JAPAN ドラッグストアショー」について、一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会会長から本協会に対し後援名義の申請があった旨説明があり、協議の結果これを承認した。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、14時35分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）、監事がこれに署名捺印する。

令和5年5月29日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議 長 井 上 圭 三  
(押 印 済)

出席理事  
(議事録署名人) 篠塚和正  
(押印済)

出席監事 富田基郎  
(押印済)

出席監事 市川厚  
(押印済)